

滋賀-兵庫 観測点4倍 60カ所

地震予測へ「満点計画」稼働

京大防災研

後湖西岸断層花折断層 国の「ひびき集中帯」有岸、山塊構造など大地殻の重層的調査・研究。断層の構造と断層を動かすの予算を、陸す地内部のひびき（応力）を遥隔から比良山地、丹波へと、京都防災研究所 設地まで東西と南北（手前）が七日までに次世代約五トのエリアに新代地観測システムの稼働を、たに四十五の観測点を始めた。滋賀から京都、大阪、及び、半年間の自動観測。兵庫までの「断層帯集域」で、測可能な小型地震観測点を四倍に増やし、大地殻帯と低消費電力記録の稼働を稼働（25面に関連 監視、現地取方式）を設置した。観測点を万単位にする目標から「満点（万点）計画」と名付けた。

従来はエリア内には、京大、防災科学技術研究所、気象庁による十の観測点があった。五の観測点があった。

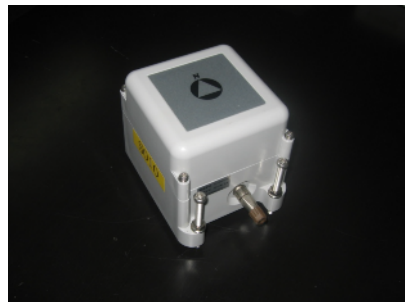
「満点（万点）計画」で、新たな稼働した観測点（約の倍）と従来の観測点（約の倍）の設置。研究センター教授提供。

断層構造など解明へ

新システムを加えて四倍の観測点を増やして、正確に分らなかつた断層の構造や、断層を動かす力となる地殻内部の応力の解明を期待している。

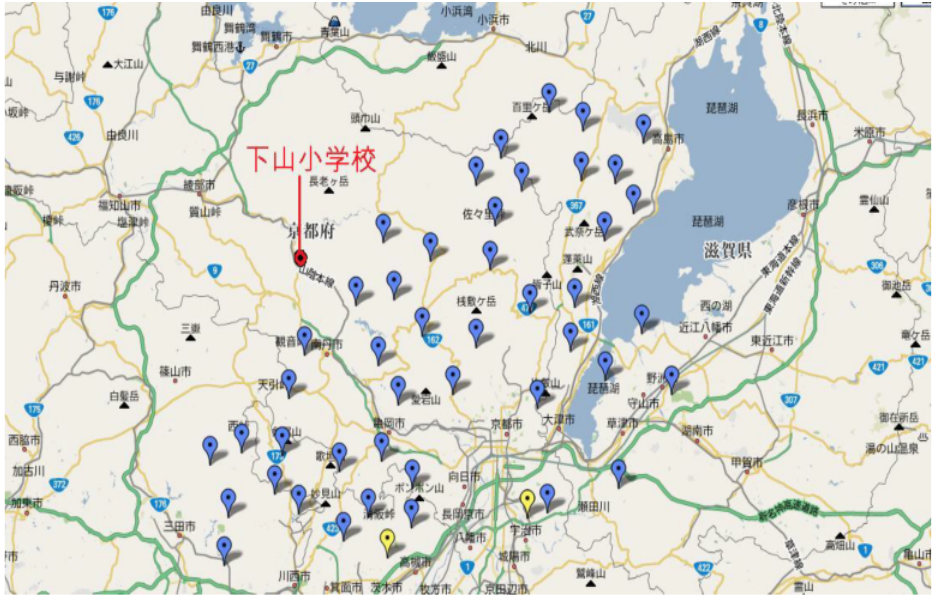
丹波山地は、日常的な地殻活動の継続化が二〇〇二年から続いている。この二〇〇二年から続いている。この二〇〇二年から続いている。この二〇〇二年から続いている。

小学校に地震計を置いてみたら - 「満点計画」と学習プログラム -

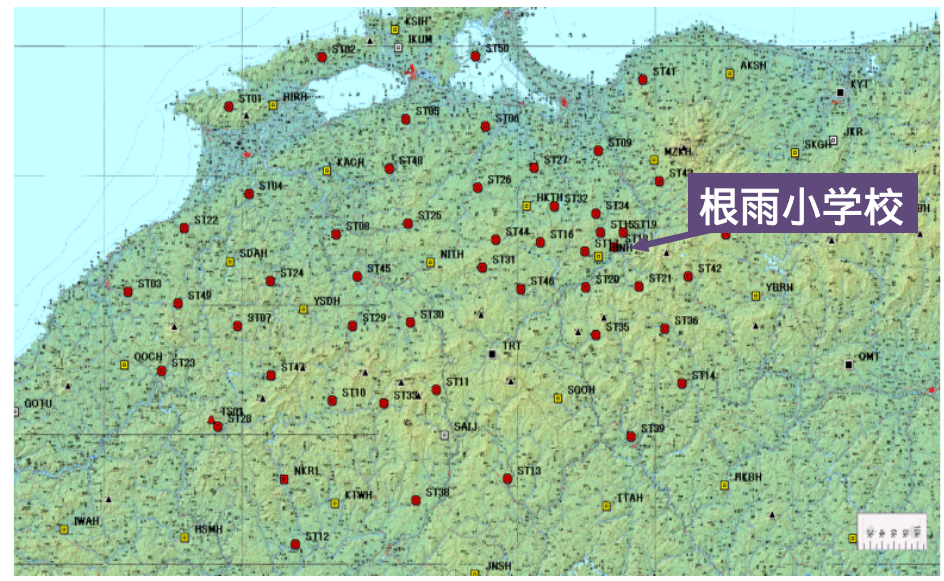


京都大学防災研究所
矢守研究室

京都府京丹波町立下山小学校



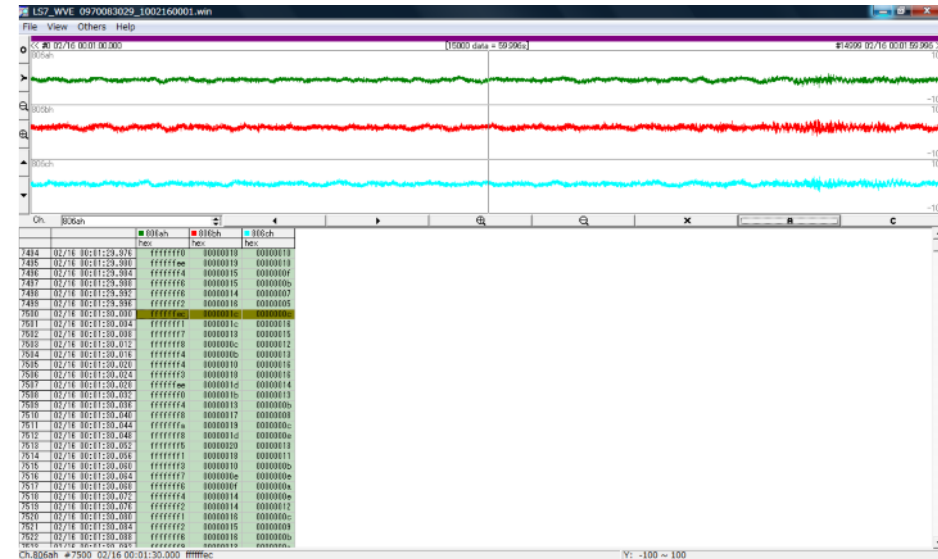
鳥取県日野町立根雨小学校



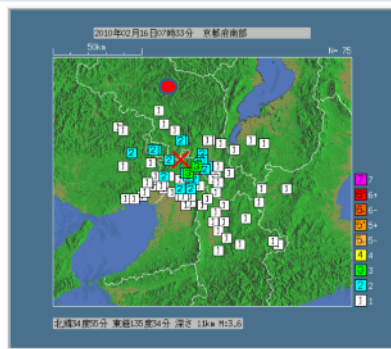
楽しそうでしょう？ ---授業と設置の様子



深夜、静かな時間は・・・



でも近くで地震が起きると・・・
 (2010年2月16日7時33分 京都府南部 深さ11km
 M3.6)



こんなによくわかります

